



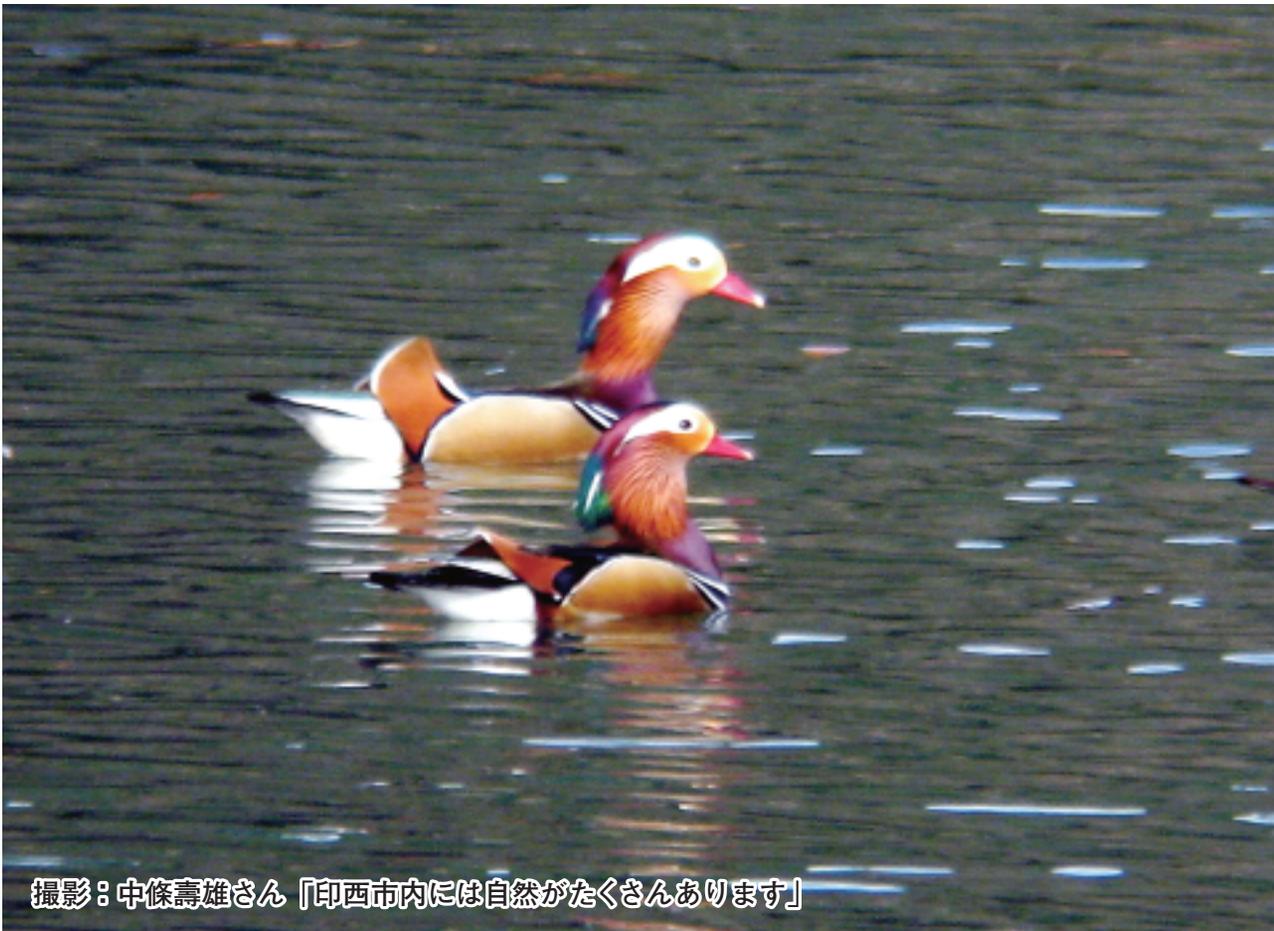
印西市

議会だより

第159号

平成24年(2012年)2月

発行
千葉県印西市議会
編集
議会だより編集委員会
〒270-1396
千葉県印西市大森2364-2
TEL 0476-42-5111(代)
FAX 0476-42-5299



撮影：中條壽雄さん「印西市内には自然がたくさんあります」

平成23年 第4回 定例会

会期11月30日～12月21日

公民館使用料改正の条例を可決

第4回定例会は会期22日間で開かれました。条例の制定が1件、条例の一部改正が11件、補正予算が3件、その他7件の計22議案のほか、同意1件、諮問2件、請願4件、陳情10件、議員による発議案2件が提出され、それぞれ慎重な審議が行われました。なお、議案などの議決結果については、7ページに掲載してあります。

予算審査特別委員会 審査報告

平成23年度印西市各会計補正予算(一般会計、国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計)を予算審査特別委員会に付託し、審査を行いました。

【審査結果】

印西市各会計補正予算(一般会計、国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計)〈可決〉

予算審査特別委員会の審査における主な質疑及びその答弁について要約して掲載します。

印西市一般会計について

質疑 社会福祉総務費9735万8000円を計上している21住区地域交流施設整備事業の積算根拠は。

答弁 地域交流施設の用地取得費として、面積1754.19㎡、単価5万5000円である。

質疑 21住区学童保育施設の用地面積と単価は。

答弁 学童保育施設の面積は446.24㎡、単価5万5000円の2476万6320円である。

質疑 市道物木・滝線整備事業の9600万円は、いわゆるハード面、信号設置など公安委員会事業は別として、県道への接合、附帯工事や交差点改良などのハード面の整備はこれで終了するという認識でいいのか。

答弁 これでハード整備は終了となる。

印西市特別会計について

質疑 このたびの国の介護保険特例措置に対する周知はどのようにしたのか。

答弁 今回の特例交付金の対象は、介護保険の65歳以上の第1号被保険者で平成23年3月11日現在で市町村に住所を有しており、東日本大震災の被災により居住する住宅が被災された方が対象となる。防災課の被災状況に基づき、要介護認定を受けており、その中で介護サービスを受けているかどうかを確認し、その該当者全員に通知をした。

質疑 申請をしなくてはならないが、個別に郵送し、何%が申請したのか。

答弁 全員の方より申請を受け付けた。

「いんざい市議会だより」の1面に掲載する写真を募集しています。

【題材】 印西市の四季折々の風景
【応募資格】 市内在住、在勤または在学

応募方法等、詳細については議会事務局までお問い合わせください。
【印西市議会事務局】 ☎0476-42-5111 (内線607・608)

議会中継が始まります

平成24年第1回市議会定例会からインターネットによる議会中継(生中継及び録画中継)が始まります。
アドレスは
<http://www.discussvision.net/inzaisi/index.html>

一般質問

平成23年第4回定例会では開会日から5日間、17人の議員による個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。ここでは紙面の関係でその一部を掲載いたします。

個人質問 ゴミの大量焼却よりも ゴミ減量を優先しては

山本 清

質問 1人あたりのゴミ焼却量の一日平均は、印西ではどうなっているか。全国平均はどうか。

環境経済部長 データがある直近の平成21年度の数字で、家庭系可燃ゴミは、印西が472グラム、全国が457グラムとなっている。

質問 印西市は全国平均よりも多い。仮に生ゴミがすべて分別されて焼却される態勢ができれば、1人1日あたりの焼却量は、どのくらい減る見通しか。

答弁 平成22年度のごみ質の分析結果から推計すると30パーセント程度削減される。

質問 横浜市は人口360万人を超す大都市だが、21世紀に入って、家庭の可燃ゴミを35パーセント削減した。町田市(東京都)や葉山市(神奈川県)では、ゴミの焼却・埋め立てをやめる「ゼロ・ウェイスト政策」を始めている。これらの先進事例を研究しているか。

答弁 現在、策定中の「第

1のゴミ焼却場新築に巨額の予算を出す前に、ゴミの減量化を早急かつ徹底的に推進してはどうか。

答弁 ゴミ処理問題は、環境問題などの理由から地方自治体にとって重要課題の1つに位置づけられており、市としても平成13年度に「印西市ごみ減量計画」を策定し、ゴミの減量化・資源化に取り組んできており、今後も推進していく。

個人質問 コンビニ・ペイジーで らくらく納税

中澤 俊介

質問 繰り返し提案してきたコンビニ収納サービスが新年度より導入の運びとなった。単身世帯や共働き世帯を中心に、平日の銀行窓口を利用できない納税者にとってニーズが高いコンビニ収納だが、平成24年4月スタートに向けての進捗状況を伺う。

総務部長 コンビニ収納実施に当たっては、平成24年4月から固定資産税・都市計画税、軽自動車税、市・県民税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料のほか、下水道使用料・水道料金も利用可能となる。利用できるコンビニエンスストアは、市内に多く展開している店舗として、セブンイレブン、デイリーヤマザキ、ファミリーマート、ミニストップ、ローソン等の、市内33店舗ほか、全国展開をしている14コンビニ本部24チェーン店となる。

質問 ペイジー導入により、納税の機会拡大や利便性の向上など、納税環境が飛躍的に進化するが、そのメリットや具体的な利用方法は。

答弁 ペイジーの導入に伴い、主な銀行や郵便局等のインターネットバンキング、モバイルバンキング及びATMで納税が可能となる。事前の利用登録が必要になるが、操作方法は振り込み操作より簡単で、納付書に記載されている数字を入力し、支払方法を指定することで完了する。特に、現金を引き出した後に、

質問 公明党は平成23年8月、「女性防災会議」を立ち上げ、全国658の自治体へのアンケート調査など防災総点検運動を実施。その結果、女性の視点を生かした防災対策の必要性が浮き彫りに。例えば、女性の防災会議の委員は、国では26人中2人、都道府県では4.4%。当市においても35人中1人である。女性の視点を生かした防災対策について伺う。

個人質問 女性の視点を生かした 防災対策について

浅沼 美弥子

質問 別訪問事業を推進してはどうか。

答弁 女性消防団の増員については市域も広がったことから考慮する。また活動内容の拡大については、防災用具の点検や、家具の転倒防止などの防災に関するPRを含めた戸別訪問について検討する。

その他の質問

胆道閉鎖症の早期発見のため、母子手帳にカラーカード(便色の見本)の導入を。

保育所待機児童(10月1日現在82人)解消のためあらゆる対策を講じよ。

自治法の改正で生じた課題である、基本構想と各種行政計画との整合性を保持するための対策を講じるべきではないか。

質問 女性消防団員の増員と、女性消防団員による、個

個人質問 道路整備 市道物木・滝線について

小川 義人

質問 道路整備について①市道00-031号線について②市道物木・滝線について③若草大橋先線について④北千葉道路について⑤国道16号バイパス(千葉柏道路)について

都市建設部長

①都市計画道路3・4・11の交差点付近に未買収地があることから、整備できない状況である。残り400mの未整備区間の工事の際は大型重機が必要となり、工事進入路が都市計画道路の交差点部分になることから、用地買収ができないと工事に入れない状況である。

②市民からの早期供用開始の強い要望がある。県道千葉白井印西線の交差点改良を暫定形での整備をすること、千葉県警及び印旛土木事務所

と協議をしていた。早ければ、年内に協議が整うことになり、12月定例会において工事費の補正予算をお願いしている。今後、協議が整い、補正予算の議決をいただき、入札の準備に入ってから、工事契約の締結を行いたい。平成24年9月に暫定形での供用開始を目指して事業を進めている。

③若草大橋は平成18年4月に暫定で供用開始した。茨城県側で美浦栄線バイパスが供用開始した。千葉県側は、栄町北地先の国道356号バイパスが終点となり、朝夕の交通渋滞の慢性化など生活環境の悪化を招いている。そこで、千葉県知事に対し、延伸線の事業化の要望を行いたい。

④印西市から成田市にかけての区間は、部分供用を含め



早期開通が待たれる市道物木・滝線

関係機関と調整を図っていく。
 ⑤東日本大震災により、土木構造物に被害が生じ、パイパスルートの課題及び問題点を抽出し、検討している。

山田 喜代子

個人質問

ゴミ減量でクリーンセンター移転の見直しを

質問1 ①全住民への説明責任を果たすべき。合併時には自ら昼夜行っている。

質問2 高齢者の外出支援

①要介護3以上の方に福祉タクシーの利用券の交付(年間60万円の実績)をしているが、対象を拡げる考えはないか。ダイマンド交通、乗り合いタクシーの早期導入を求める。
 ②鍼灸・マッサージ事業(補助が一回千円が500円に半減され平成20年に廃止)の復活を。身なりを整え、外出することが閉じこもりの防止につながる。
 健康福祉部長 ①高齢者の介護予防や閉じこもりの防止を含め外出支援を図りたい。

市長 ①組合の方で時間、場所等調整してほしい。ただ一つ懸念なのは正副管理者の3人の時間調整をしなければならぬ。時間がとれるか難しい。
 環境経済部長 ②「第2次ゴミ減量計画」の策定を行っている。減量化は必要だ。③正副管理者間での討議資料とした。事業の推進にあわせ更に精査されると考える。

個人質問

クリーンセンター移転 市民参加による検討を

雨宮 弘明

質問 印西地区環境整備事業組合がクリーンセンターの建替移転候補地として選定した3カ所について、組合が印西市に、まちづくりの観点から見解を求めたのに対し、現在地、または現在地から500m離れた造成中の土地が望ましいとの見解を回答したことについて尋たい。
 まちづくりの観点から住民への影響度について検討する際、市民参加条例を活用したか。
 環境経済部長 庁内検討会(7部11名の委員で構成)で検討した際、市民参加条例についての適用をどうするかという事は検討した。しかし事業主体は組合であり、市とは別の団体ということで市民参加条例の対象ではないと考えた。
 質問 市長は説明会で、25項目にわたる評価項目から候補地を3つに絞り込んだと説明しているが、住民への環境配慮についての評価項目は、「周辺住宅地の密集度」、「学校等からの距離」の2項しかない。また重要度にしても3段階のうち一番低いランクに評価されている。こんな比較検討結果を信用できるのか。
 答弁 組合の委員会の中には識見者も市民代表者も選任されており。そういう中で協議の結果と理解している。
 質問 組合の委員会が採用した25の評価項目の中には、「まちづくり計画」「住民合意形成」「用地費」「景観への配慮」など7項目は評価対象外として含まれていない。これらの項目こそ印西市としてきちんと評価しなければならぬのではないか。
 答弁 庁内検討会では、用地費等の経済性、住民への配慮については、組合の中で配慮してほしい旨の回答をしている。

個人質問

液状化とクリーンセンター 建替用地選定

海老原 作一

質問 最終決定した候補地は液状化に注意する必要がある区域であることを認識していたか。
 環境経済部長 印西市防災マップでは液状化に注意する必要がある区域となっており、候補地選定にあたっては千葉県の液状化危険度予測分布図を明示した比較検討地抽出参考図を使用した。

質問 千葉県の液状化危険度予測の想定震度を超える地震が起きていることから情報を厳しく見る必要があると考えるか。
 答弁 施設の建設にあたり危険度の大小にかかわらず、地質調査を実施し基礎の構造等を決定する。
 質問 130mの煙突等の建設にあたり、地質調査の結果により建設コストの膨らむ可能性をどの様に考えるか。
 答弁 地質調査をし、安全確認後、建設に入るが地質調査結果によっては建設コストが膨らむ可能性がある。

質問 所沢市では、最終処分場の候補地選定過程において、パブリックコメント手続きを行い、比較評価項目募集をした。市民参加条例を制定している印西市として、このような候補地選定作業に対する市民参加をどう考えるか。
 答弁 印西地区環境整備事業組合は、学識経験者や市民などで構成する次期中間処理施設整備検討委員会を設置し、比較検討地の評価をした。

質問 組合から印西市に候補地抽出依頼があつてから候補地を組合に挙げるまでの期間。
 答弁 提出期限までは2カ月である。
 その他の質問
 ・印西クリーンセンターと千葉ニュータウンセンター熱供給事業本部との関係について
 ・ホームページによる市政情報公表および提供について

個人質問

ランドルームについて

國嶋 久善

質問 (株)ランドルームが平成23年5月頃に閉店するという噂があり選挙後にすぐ駅前センタービル(株)と(株)ランドルームの両者に板倉議員といには野住民と三人で一刻も早い開店を交渉し、(株)ランドルームの専務より修理を早くしてくれば平成24年3月16日にオープンすると確約を戴き安心した。ところが11月に呼び出しがありセンターが修理を未だせず弁護士を立てているので3月16日オープンはないとの返事。いには野住民は毎日生活に困っている現実を市長は知っているか。市側は駅前センタービル(株)と(株)ランドルームと交渉したのは7月13日と7月17日の2日だけだ。副市長は一度出てきたが市長は一度も出て来ていない。我々は板倉議員といには野住民と何十回となく交渉してきた。都市再生機構は我々に諸施設が整備されて安心して生活出来る環境であるとPRしてきた。それを信じて我々は土地を、マンションを買った。市と都市再生機構の責任は大きいものがある。今後いには野住民に対して対策をどのように考えているか。
 市長 いには野地区にスパーの生活利便施設は不可欠なものとして認識している。日々の不便を強いられることがないように一日も早い商業施設の誘致、生活利便施設の確保について都市再生機構に対し強く申し入れている所だ。
 その他の質問
 ・この厳しい現実を乗り越えるには都市再生機構に対して市長といには野住民との約束はどうした。
 ・約束を守らなければ今後いには野再開発には許可を出さないと強いリーダーシップを発揮して行く覚悟があるか。

個人質問

地域公共交通活性化施策と6駅設置計画

齋藤 光彦

質問 交通問題について
 ①印西市地域公共交通活性化の取り組みについて
 ②6駅(仮称、そうふけ高花駅)設置計画について
 企画財政部長 ①平成22年度、公共交通の充実に向けた基本方針となる「印西市地域公共交通総合連携計画」を策定した。この連携計画に基づき、平成23年9月1日よりふれあいバスの実証運行と



布佐ルート運行開始でより便利になるふれあいバス

して、市役所から木下駅、布佐駅等を経由し、千葉ニュータウン中央駅を結ぶ布佐ルート、印西牧の原駅から竜腹寺、荒野等を経由し、印旛支所を結ぶ印旛支所ルートの2ルートを新設するとともに既存4ルートの日曜日・祝日運行を開始したところである。市民の皆さまからは、「バスが運行するようになって、大型商業施設に買い物に行けるようになった」、「休日も運行し便利になった」といったご意見や「電車との乗り継ぎにもっと配慮していただきたい」とのご指摘などをいただいた。

今後、協議会では、実証運行について、利用者アンケート調査も行いながら、利用者の属性や利用動向、満足度等を把握し、事業の検証・評価を行うとともに、連携計画に基づく3年間の計画期間の中で、民間バス路線や補助路線の利便性向上、市内交通不便地域の解消策等について、様々な検討を行っていく。

②千葉ニュータウン事業の成熟や周辺環境の整備などの状況に注視して、設置の可能性について検討すべきものと考えている。現在、総合計画の策定作業を進めているところであり、9月議会で議決をいただいた基本構想の土地利用基本構想図の中にも駅圏・検討として位置付けており、現在、策定を進めている基本計画の素案の中でも、検討している。

個人質問

議会答弁は期限付き

有言実行を

上條 公司

質問1 (仮称)コスモス道路と県道船橋・印西線の建設は遅々として進まない。強く要望するというが、今までどのような交渉をしてきたのか。また、木下街道・松山下までの歩道の整備はどうなっているのか。

市長 今後あらゆるつてを駆使して交渉し、用地買収が済んだ所から供用開始できるように県に要望する。

質問2 町づくりの主要な取り組みとして位置づけられているレンタサイクルの社会実験から13ヶ月経過した。反省点と今後の方向性について。

市長 視察先の西宮市で開発された被災者支援システムについて勉強してきた。費用も安いし、被災者の為にも導入してはどうか。東日本

企画財政部長 商業施設や

史跡へのアクセスの向上、地域の活性化に有効であった。今後は事業化に向けて関係団体と連携を図るとともに、国や他自治体等の情報収集に努める。自転車の安全・安心な走行環境と回遊コースの必要性も意見交換した。今年度中に、庁内検討組織を設置し、事業化に向けての課題や諸条件の検討に着手する。来年度は更に事例研究、庁内検討を進める。

質問3 視察先の西宮市で開発された被災者支援システムについて勉強してきた。費用も安いし、被災者の為にも導入してはどうか。東日本

健康福祉部長 ④消防計画

個人質問

使い易い公民館運営を。21住区充実のために

近藤 瑞枝

質問1 公民館利用について、社会教育関係団体の認定はどのように。教育部長 申請後1年間の活動内容・運営状況を確認してから認定の可否を判断。

個人質問 地域の防災力向上策と企業誘致政策について 松尾 榮子

質問1 防災対策について ①市指定避難場所の防災倉庫の整備状況と未整備箇所の整備スケジュールは。②災害時には小中学校等の避難所に周辺住民が避難し共同で避難所を運営。小学校区単位の防災訓練を推進し支援していく考えは。③防災倉庫の備蓄品を点検し医薬品等で消費期限切れのものは至急入替えを。④民間福祉施設等の防災対策は。

質問1 防災対策について ①市指定避難場所の防災倉庫の整備状況と未整備箇所の整備スケジュールは。②災害時には小中学校等の避難所に周辺住民が避難し共同で避難所を運営。小学校区単位の防災訓練を推進し支援していく考えは。③防災倉庫の備蓄品を点検し医薬品等で消費期限切れのものは至急入替えを。④民間福祉施設等の防災対策は。



災害に備え、食料や医薬品等が備蓄されている防災倉庫

質問1 防災対策について ①市指定避難場所の防災倉庫の整備状況と未整備箇所の整備スケジュールは。②災害時には小中学校等の避難所に周辺住民が避難し共同で避難所を運営。小学校区単位の防災訓練を推進し支援していく考えは。③防災倉庫の備蓄品を点検し医薬品等で消費期限切れのものは至急入替えを。④民間福祉施設等の防災対策は。

質問2 企業誘致政策について ①企業誘致政策について。茂原市と県が多額の補助をし誘致した工場が5年で撤退。補助金に返還規定はなく、わずか5年の立地では雇用、税収等のメリットはほとんどないとのこと。①企業の進出状況②奨励措置の適用状況③市企業立地奨励金の返還規定は。

環境経済部長 ①国道464号沿道、大塚等で7社。牧の原に(株)千葉銀行。松崎工業団地で1社契約、5社協議中。②平成22年度まで14社、今年度1社を指定。雇用奨励金はこれまで1社のみ。③印西市企業立地促進条例第8条に奨励金の返還規定があるが、これまで該当はない。

会議録がインターネットで閲覧できます。

ホームページアドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/inzai/inzai.html>

市議会だよりに掲載の審議内容や一般質問は、紙面の都合により要約してあります。今までの会議録による閲覧に加え、インターネットによる閲覧ができますので、ぜひご覧ください。

なお、従前どおり、会議録は次の場所で閲覧できます。第4回定例会の会議録は、3月上旬頃閲覧開始予定です。

- ◇議会事務局 (市役所5階)
- ◇行政資料コーナー (市役所1階)
- ◇支所 (印旛・本埜)
- ◇市内図書館6館 (大森、小林、小倉台、そうふけ、印旛、本埜)



個人質問

国営印旛沼二期事業について

小川 勇

質問1 国営印旛沼二期事業(※)について、現在の進捗状況について伺う。

市長 平成23年1月12日に計画が確定され、事業費33.2億円、期間は平成22年度から平成30年度、予算措置は平成22年からされており、本年度中には工事着手すると聞いている。

質問 工事の進め方について伺う。

環境経済部長 農業水利事務所、千葉県、土地改良区、市町とで必要に応じて調整し、施設状況によって実施していく。

質問2 印西市の教育について、印西市に優秀な管理職に来てもらい、若い教員をしっかりと育てることが教育長の役目と思うが。

教育長

若い教員は、学校現場で管理職や先輩の教員から指導を受け、互いに切磋琢磨する中で、教員としての力量が高まるものと考えている。子供を輝かせるのは教員であり、その教員を輝かせるのは校長の役割である。毎月の校長会議に出席して、若い教員を育てることについて、再三指導している。

指導力のある校長や教員を育てることが、私の大きな役割であると考えている。

(※)印旛沼周辺の農業水利施設は、老朽化に伴う機能低下が生じ、農業生産性の向上に支障をきたしている。このため、用排水機場、用水路を刷新し、農業生産及び農業経営の安定を実現するものである。

その他の質問



建替が予定されている宗吾北揚排水機場

・印旛中央地区区画整理事業について

・順天堂大学との連携強化について

個人質問

ゴミ焼却場建替えについて

板倉 正直

質問 ゴミ焼却場建替えについて。

千葉ニュータウンの中心近くの大塚三丁目町内会は現在400世帯程住んでいる。ゴミ焼却場予定地から近い所では約300mしか離れておらずオフィスビルも近いこの場所がゴミ焼却場として適地だと思えるのか。やめてください。絶対に良くない。今一度考え直して白紙にするつもりはありますか。

市長 決定の経緯はご理解いただいている。年内に2ヶ所の周辺自治会に説明があり、その他にも丁寧に説明する。

質問 今の答弁で白紙にするつもりがないとわかった。住民らが反対運動を起こし大騒ぎになったらどうするのか。

答弁 粘り強く丁寧に説明する。

質問 説明しても理解得られないと思う。ただごとでは済まなくなったら市長はどのように責任をとるのか。

答弁 あくまでも粘り強く説明していく。
質問 7月市長選挙がある

個人質問

平成24年度の子算編成と公共交通について

岩崎 成子

質問1 ①予算編成の基本方針②予算規模③財政の見通しについて伺う。

市長 ①総合計画の着実な

推進、行政改革に基づく予算編成、合併協定項目に即した予算編成、国・県の予算動向の注視、新規事業等に対する財源等の確保、実態を踏まえた予算要求、将来債務の抑制、合併特例期間の認識の8つの基本方針を掲げた。

企画財政部長 ②各課からの要求ベースは、約330億円である。③歳入見直しは、低経済成長や高齢化の影響により、税収の伸び悩みや国からの地方財政支出の全体的な抑制傾向が懸念され、現状の歳入確保が極めて厳しい状況が見込まれる。歳出見直しは、社会保障関連経費の増加、学校や道路、公園、下水道など公共施設の維持管理費及び改修費の増、千葉ニュータウンの熟成に向けた整備や社会資本整備総合交付金事業などの

質問1 市債権の回収について①主な市債権の滞納状況は。②滞納額縮減のため、回収窓口を一本化する考えはありますか。③債権回収方針を策定する考えはないか。

市長 ②と③は一括して答弁する。これまでも適正な債権管理と滞納整理事務の推進に努めてきた。今後についても、組織を挙げて債権の回収に積極的に取り組む。債権回収窓口の一本化と債権回収方針の策定については検討したい。

個人質問

市債権の回収と図書館の充実

橋本 和治

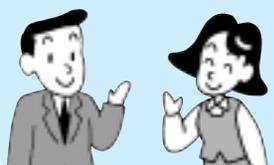
普通建設事業が計画されている。財政運営に負担となることが見込まれることから、今後も厳しい財政運営が予測される。
質問2 公共交通の整備・充実を図る施策について伺う。
市長 公共交通については、市民の皆様の関心が高いことや重要性については十分に認識している。現在、市では、公的サービス路線の充実や独立採算が難しい民間路線への補助などの対策を講じている。今後については、地域の実情等を考慮しつつ、印西市地域公共交通総合連携計画に基づき、持続可能な公共交通が確保できるような積極的に取り組んでいきたいと考えている。
その他の質問
福祉ボランティア活動を推進するための施策について。

質問1 市債権の回収について①主な市債権の滞納状況は。②滞納額縮減のため、回収窓口を一本化する考えはありますか。③債権回収方針を策定する考えはないか。

市長 ②と③は一括して答弁する。これまでも適正な債権管理と滞納整理事務の推進に努めてきた。今後についても、組織を挙げて債権の回収に積極的に取り組む。債権回収窓口の一本化と債権回収方針の策定については検討したい。

質問 窓口の一本化について具体的にどう検討するのか。
総務部長 平成24年度を目途に、庁内検討会を立上げ、債権回収の窓口の一本化を含む体制の強化の方策や、債権

ご意見・ご感想をお寄せください!



議会だよりを読んで感じたことなど、皆さまのご意見をお待ちしております。

〒270-1396
印西市大森2364-2 議会事務局
TEL: 0476-42-5111
(内線607・608)
FAX: 0476-42-5299
Mail: gikai@ml.city.inzai.chiba.jp

《議会を傍聴してみませんか》

次の定例会は、2月20日(月)~3月23日(金)の会期予定です。開会は午前10時からとなりますので、5階議場にお越しください。なお、都合により変更になる場合もあります。詳細については、お尋ねください。

印西市議会事務局
☎0476-42-5111 (内線607・608)

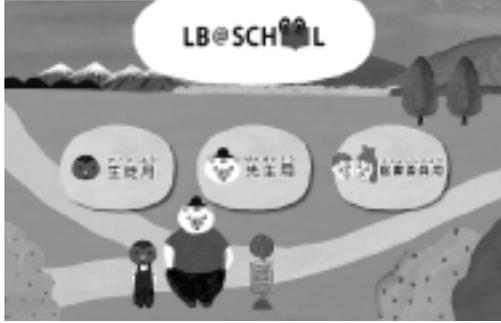


管理、滞納整理の具体的な取組み等を内容とする債権回収方針の検討を進めたい。

質問2 図書館の充実について
本市は、全国でもトップレベルの学校図書館管理システムを整備しつつある。これが完成すると、市の図書館と学校図書館の連携ができるか。

教育部長 現在推進中の学

校図書管理システムは、市内すべての小中学校の図書データを一括して管理し、市内7500名の児童生徒が、約22万の図書資料を、一つの図書館のように活用できる。このシステムは、市内図書館のネットワークと互換性があるので、今後の運用について調査研究を行いたい。



システム整備により充実する学校図書館

個人質問 放射線対策と クリーンセンターの移設手続き

軍司 俊紀

質問1 放射線対応について
と伊西市の将来について
局所的に高い放射線量が計測された地点を見つけた時にどのように対応するのか。

市長 小・中学校等には簡

易測定器を配備し、局所的に高い放射線量が計測された箇所については、その都度除染作業を実施している。又、放

射線量測定器の貸出等で発見された市管理地については、再度、職員が計測し除染等の対応をし、民有地については、除染の方法等の助言をしている。

質問 甲状腺検査を含む健康診断をすべきだと考えるがどうか。

健康福祉部長 今後の千葉

県及び近隣自治体の動向を注視していきたいと考えている。

質問2 環境整備事業組合と伊西市について
都市計画で「ごみ焼却場」として敷地位置の確定は行っていないが、今後はどのような手続きを取るのか。

環境経済部長 組合では、今後、環境影響評価方法書や準備書の手続きを行い、最終的に環境影響評価書の作成に併せ、平成26年度を目途に、都市計画法第11条に基づき、都市施設としての「ごみ焼却

施設」の決定を得ることを予定している。

各常任委員会での審査

一部の議案について、所管の常任委員会に付託し、審査を行いました。12月12日に総務企画常任委員会、13日に文教福祉常任委員会、14日に建設経済常任委員会をそれぞれ開催しました。

ここでは、紙面の関係により、委員会で行われた主な議案の質疑及びその答弁の一部について掲載します。

総務企画 常任委員会

【議案第5号】伊西市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について(市が設置する公の施設のうち、利用形態がコミュニティセンターと類似する施設において使用料の額を改めること)がら、公平性を確保するため、コミュニティセンターにおいても使用料等の額を改めるも

【議案第7条】伊西市民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について(地方

施設」の決定を得ることを予定している。

質問 地区計画の方針として当該地区は「危険性や環境を悪化させる恐れのない業務施設をつくる」と伊西市は決定しているが、クリーンセンターは危険性や環境を悪化させる恐れのない業務施設か。

答弁 クリーンセンターは危険性や環境を悪化させる施設に該当しない。

その他の質問
防犯情報の提供について
牧の原駅圏の将来について

【議案第16号】指定管理者の指定について(伊西市自転車駐車場の施設管理を指定管理者に行わせるもの)

質疑 6者応募があった中から選定した理由は、

【議案第9号】伊西市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について(公民館の名称と位置の規定から「伊西市立中央公民館宗像分館」に関する部分を除くもの、公民館の施設の使用料の規定を現行において午前、午後及び夜間の3つに区分して設定している合併前の伊西市の区域に所在する公民館の当該使用料について、これらの区分をなくし1日を通して同一の使用料とするもの等)

質疑 夜間区分の使用料が

事実上の値下げになっているが、なぜ使用料を下げたのか。

答弁 区分の廃止の根拠は、公民館を使用する場合には、空調も電気も、昼間も夜間も使用している。今までの設定では、昼間の料金に比べて夜間が倍になっていたこと、また、近隣市町でも多くが夜間等の区分がないことから、減額となっている。

【議案第17号・18号】指定管理者の指定について(小林子育て支援センター・小林学童クラブ・小林第2学童クラブの施設管理を指定管理者に行わせるもの)

質疑 小学校と学童クラブの連携というのは、どのような情報交換をしているのか。

【議案第8号】伊西市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について(有料公園施設の種類の使用料の額の整合を図ることによるもの)

質疑 この改正により現行と料金の差異が生じるところがあるが、算定基準は、

【議案第7条】伊西市民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について(地方

【議案第7条】伊西市民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について(地方

【議案第7条】伊西市民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について(地方

【議案第7条】伊西市民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について(地方

【議案第7条】伊西市民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について(地方

【議案第7条】伊西市民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について(地方

【議案第8号】伊西市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について(有料公園施設の種類の使用料の額の整合を図ることによるもの)

質疑 この改正により現行と料金の差異が生じるところがあるが、算定基準は、

【議案第7条】伊西市民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について(地方

質疑 この改正の市民への周知はどのように考えているか。

発議案

【伊西市議会における議会改革推進の基本理念及び基本方針を定める決議について(可決)】
「市民福祉の向上のため」の議会改革の観点から市民の方々にも情報発信を行いながら、また、議員各位から出されている検討項目について議論を重ね、更なる議会改革に向けて、速度を上げながら、ともに推し進めていきたいことから、伊西市議会における議会改革の第一歩として「基本理念及び基本方針」を定めるもの。

※詳細については8ページ「議会改革推進特別委員会報告」参照

【伊西市議会における議会改革推進の基本理念及び基本方針を定める決議について(可決)】
次期中間処理施設整備事業を推進する上ではゴミ処理計画やゴミ減量化計画も早期に立案し、構成市町と足並みをそろえるためにも、早急に、広く伊西市民・白井市民・栄町民の意見を聴取する検討組織を立ち上げ、財政負担の問題も十分に念頭においた上で、の施策を含めた次期一般廃棄物処理計画の検討を強く求めるもの。

【伊西市議会における議会改革推進の基本理念及び基本方針を定める決議について(可決)】
次期中間処理施設整備事業を推進する上ではゴミ処理計画やゴミ減量化計画も早期に立案し、構成市町と足並みをそろえるためにも、早急に、広く伊西市民・白井市民・栄町民の意見を聴取する検討組織を立ち上げ、財政負担の問題も十分に念頭においた上で、の施策を含めた次期一般廃棄物処理計画の検討を強く求めるもの。

【伊西市議会における議会改革推進の基本理念及び基本方針を定める決議について(可決)】
次期中間処理施設整備事業を推進する上ではゴミ処理計画やゴミ減量化計画も早期に立案し、構成市町と足並みをそろえるためにも、早急に、広く伊西市民・白井市民・栄町民の意見を聴取する検討組織を立ち上げ、財政負担の問題も十分に念頭においた上で、の施策を含めた次期一般廃棄物処理計画の検討を強く求めるもの。

【伊西市議会における議会改革推進の基本理念及び基本方針を定める決議について(可決)】
次期中間処理施設整備事業を推進する上ではゴミ処理計画やゴミ減量化計画も早期に立案し、構成市町と足並みをそろえるためにも、早急に、広く伊西市民・白井市民・栄町民の意見を聴取する検討組織を立ち上げ、財政負担の問題も十分に念頭においた上で、の施策を含めた次期一般廃棄物処理計画の検討を強く求めるもの。

【伊西市議会における議会改革推進の基本理念及び基本方針を定める決議について(可決)】
次期中間処理施設整備事業を推進する上ではゴミ処理計画やゴミ減量化計画も早期に立案し、構成市町と足並みをそろえるためにも、早急に、広く伊西市民・白井市民・栄町民の意見を聴取する検討組織を立ち上げ、財政負担の問題も十分に念頭においた上で、の施策を含めた次期一般廃棄物処理計画の検討を強く求めるもの。

【伊西市議会における議会改革推進の基本理念及び基本方針を定める決議について(可決)】
次期中間処理施設整備事業を推進する上ではゴミ処理計画やゴミ減量化計画も早期に立案し、構成市町と足並みをそろえるためにも、早急に、広く伊西市民・白井市民・栄町民の意見を聴取する検討組織を立ち上げ、財政負担の問題も十分に念頭においた上で、の施策を含めた次期一般廃棄物処理計画の検討を強く求めるもの。

平成23年 第4回定例会 議案等議決結果

議案番号	付 議 事 件	議決の結果
議案第1号	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第2号	印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決
議案第3号	印西市市民安全センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第4号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第5号	印西市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第6号	印西市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第7号	印西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第8号	印西市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第9号	印西市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第10号	印西市文化ホールの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第11号	平成23年度印西市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第12号	平成23年度印西市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第13号	平成23年度印西市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第14号	業務委託契約の変更について	原案可決
議案第15号	業務委託契約の変更について	原案可決
議案第16号	指定管理者の指定について	原案可決
議案第17号	指定管理者の指定について	原案可決

議案番号	付 議 事 件	議決の結果
議案第18号	指定管理者の指定について	原案可決
議案第19号	字の区域及び名称の変更について	原案可決
議案第20号	字の区域及び名称の変更等に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第21号	印西市支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第22号	千葉北部地区新住宅市街地開発事業に関連する特定公共施設工事の施行に関し同意することについて	原案可決
同意第1号	印西市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同 意
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適 任
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適 任
選 挙	選挙管理委員及び補充員の選挙 委員 武 井 誠 委員 河 内 恒 明 委員 上 木 格 委員 篠 田 有 朋 第1補充員 大 野 建 第2補充員 板 垣 昭 典 第3補充員 武 藤 百合子 第4補充員 河 澄 良 子	当 選
請願第23-5号	「ふれあいバス」を木下駅から白井駅間に運行できるよう求める請願	不 採 択
請願第23-6号	学校図書館の充実を求める請願	継続審査
請願第23-7号	印西市内過半数以上の幼児に幼児教育を担っている私立幼稚園に対し教育補助をお願いする請願	継続審査
請願第23-8号	千葉ニュータウン21住区の開発において、希少種を含む生態系への配慮を求める請願	採 択
発議案第1号	印西市議会における議会改革推進の基本理念及び基本方針を定める決議について	原案可決
発議案第2号	広く地域住民の意向を踏まえた次期一般廃棄物処理計画の検討を強く求める意見書の提出について	否 決

委員会の視察研修報告

総務企画常任委員会

総務企画常任委員会は平成23年10月25日から同27日まで、岐阜県羽島市、兵庫県西宮市、広島県三次市への行政視察を行った。視察には委員7名が参加し職員が3名同行した。

羽島市では「防災(水防)事業」、西宮市では「被災者支援システム」、三次市では「事務・権限移譲(県からの)」についてそれぞれ説明を受け質疑応答を行った。

羽島市は、木曾川・長良川に挟まれ、台風などによる洪水の危険性が高い土地柄であることから、市内に風水害時の一時的な非難場所として98か所を設け、計画的に避難するとしている。この度訪問した防災ステーションは、木曾川堤防沿いの国の施設との併設になっており日常的な施設使用も可能である。

西宮市では、阪神・淡路大震災で大きな被害を受けた。震災発生直後から被災者支援システムの構築、被災情報のデータベース化を職員総出で行い、被災者の氏名住所等の基本情報に加え、家屋を含む被災状況全般を管理した。具体的には被災者台帳・連絡先情報管理・罹災証明書の発行・義援金の交付及び交付履歴管理・避難所の管理・仮設住宅の管理等のシステムを用い被災者支援や復旧・復興支援に大きな力を発揮した。

この被災者支援システムは汎用Webシステムとして総務省からすべての地方公共団体に無償提供されている。

三次市では、地方分権の推進により地方の実情に応じた特色を活かしたまちづくりを実現するため、平成17年度から「広島県・三次市事務移譲具体化プログラム」に基づき141事務中97事務を実施中である。主なものに県道の維持管理・改良事業、建築確認事務、身体障害者手帳認定交付事務、パスポートの申請・交付事務、介護保険事業者の指定事務などがある。また、平成23年度「事務移譲具体化プログラム」を廃止し、今後は、「移譲可能リスト」に基づき新たな移譲のため県主導ではなく、三次市の主体性を持って協議を進めていくとしている。また、市民からは事務事業の迅速性や県庁所在地までの移動の必要がなくなったことなど好評を得ている。

委員会では、この度の視察を通して予想外の危機に対する備え、危機対応の「決断」をサポートするシステムづくりの重要性について認識し、また、



印西市の実情に応じたまちづくりという観点からの事務・権限の移譲についても学ぶことができ、今後の印西市における施策の推進に活かしていくことが重要であるとの認識を参加者全員が共有をして視察を終えた。

建設経済常任委員会

印西市議会建設経済常任委員会は、平成23年10月31日から11月2日まで、鹿児島県鹿児島市、熊本県熊本市、福岡県大牟田市への行政視察を実施した。

鹿児島市【遊休農地バンク事業】は、耕作できない農地情報を市ホームページの「遊休農地バンク」に掲載し、農業者や新規就農希望者への貸借促進と遊休農地解消を図るもので、平成22年4月開設以来、1.39haの貸借が行われた。同市では他にも遊休農地解消に向け多くの取組みを実施。都市近郊で農業者の高齢化、後継者難に伴い遊休農地が増えている印西市においても大いに参考になるものである。

鹿児島市では、また【こどもまちづくり探検隊事業】についても調査研修を行った。

熊本市【橋梁長寿命化修繕計画事業】。熊本市が管理する182道路橋のうち45%が高度経済成長期に集中して建設されており、今後一斉に老朽化を迎え、架け替え費用の集中が見込まれる。このため同市では平成21年度「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し計画的維持管理を開始した。「予防対策」による修繕は「架け替え」に比べ約75%、「事後対策」に比べ約30%のコスト縮減が見込まれる。千葉ニュータウン建設等で、橋梁、道路等の建設が一定期間に集中した印西市でも、早期に長寿命化修繕計画を取り入れ、計画的な維持管理を進めていくことが望ましい。

熊本市では、NPO法人や店舗組合等が実施する買い物弱者対策への助成制度【買い物弱者対策事業】についても調査研修を行った。

福岡県大牟田市【エネルギーによる街の活性化事業】。三井三池炭鉱等の石炭産業で発展した大牟田市は、産業構造の変革で大打撃を受け、人口も最盛期の21万人から現在では12万5千人に。こうした中、市は新産業による活性化を目指し「新エネルギービジョン」を策定。関連施設の集積、企業立地促進に取り組んでいる。視察では新エネルギービジョンの研修、質疑等につき、同政策に伴い平成22年11月に立地したメガソーラー大牟田発電所の現地視察も実施した。近年、CO₂の削減問題、また東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の放射線問題等が大きな課題になり、環境を保全する努力が真摯に求められている中で、「新エネルギー」を核とした大牟田市のまちづくりの取り組みは、今後の印西市においてもテーマの一つとして大いに参考になるものである。

今回の視察の成果を、委員会としても今後の活動に反映していきたい。



議会改革推進特別委員会報告

議会改革推進委員会は、印西市議会における改革すべき事項について、各会派から選出された委員によって、検討が進められている。

平成23年10月以降、平成24年1月末までに計4回の委員会を開催した。第4回には、議会改革の基本理念を「市民の負託に応え、開かれた議会と改革断行を目指して」に意見を集約した。また、基本理念をもとに基本方針をたてることとした。第5回では、各会派から基本方針の意見を持ち寄り、3つの基本方針

「1. 二元代表制の一翼として、役割及び機能を適切に果たす仕組みの構築」
 「2. 執行機関との対等な関係を確立し、政策立案・政策提言のできる仕組みの構築」

「3. 積極的な情報開示と情報発信により、市民参加を推進する広報広聴の仕組みの構築」とすることに合意した。第6回には、議会改革の体系図を示し、具体的検討項目を同分類に仕分けした。第7回では、分類に仕分けされた検討項目の精査を行い、検討順位や検討方法について協議した。

また、平成23年12月定例会最終日には、更なる議会改革に向けて、「印西市議会における議会改革推進の基本理念と基本方針」を定める決議案の提出を行い、決議された。

今後は、印西市議会における共通の基本理念と基本方針のもとに、各会派内で十分に議論したものを持ち寄り、速

度を上げ、より一層改革を推し進めていく。

基本理念

市民の負託に応え、開かれた議会と改革断行を目指して

基本方針

1. 二元代表制の一翼として、役割及び機能を適切に果たす仕組みの構築

2. 執行機関との対等な関係を確立し、政策立案・政策提言のできる仕組みの構築

3. 積極的な情報開示と情報発信により、市民参加を推進する広報広聴の仕組みの構築

請願

▼「ふれあいバス」を木下駅から白井駅間に運行できるよう求める請願(総務企画常任委員会・不採択)

「ふれあいバス」を木下駅から白井駅間に運行できるように尽力することを要望するもの。

▼学校図書館の充実を求める請願(文教福祉常任委員会・閉会中の継続審査)

学校図書館がその機能を發揮するため、学校図書館費(図書整備費)の大幅な増額や読書環境の整備、専任・正規の専門職員の配置を要望するもの。

▼印西市内過半数以上の幼稚園に幼児教育を担っている私立幼稚園に対し教育補助を願う請願(文教福祉常任委員会・閉会中の継続審査)

私立幼稚園に、運営費補助金として一園40万円、職員研修費として一人あたり5千円

の教育補助を要望するもの。

▼千葉ニュータウン21住区の開発において、希少種を含む生態系への配慮を求める請願(建設経済常任委員会・採択)

21住区における古新田川最上流部(別所第2公園予定地、別所調整池、別所緑地)とその周辺部の希少種を含む生態系を保全するため、業務予定地は道路整備など最小限の造成にとどめること、別所第2公園と一体とした自然生態園として保護・活用する等、印西市の最大の魅力である里山と都市の共生を実現するため、美しい里山景観のあるこの場所の保全を求めるもの。

陳情

▼私立幼稚園通園児にかかる教育費負担軽減のため入園金補助を求める陳情(議員配付)

▼大森字中の口の住民監査請求において市が事実と違う陳述を行った事に対する陳情(議員配付)

▼3億9千7百万の現金、証券を持つ事業者への市有地(中の口の福祉施設の通路)の占有料に関する陳情(議員配付)

配付)

▼デイサービスみどり荘の占用許可部分の完了届が不当に受理され処理されました。関係職員に処分を求める陳情(議員配付)

▼福祉施設の下に産業廃棄物が埋められました。隣接七畝割団地住民の飲用地下水の100%の安全確保を市に求める陳情(議員配付)

▼大森字中の口の小規模特定事業の許可の申請及び完了届における違法行為に対する刑事告発を含む厳正なる対応を求める陳情(議員配付)

▼関東地方整備局及び利根川下流河川事務所の存続を求める陳情(議員配付)

▼安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の出先機関の存続を求める陳情(議員配付)

▼「広く地域住民の意向を踏まえた次期廃棄物処理計画の検討を強く求める意見書」の提出を求める陳情(議員配付)

▼防災対策など住民の安心・安全を支える行政サービスの体制・機能の充実を求める陳情(議員配付)

編集後記

平成23年第4回定例会では17名の議員が一般質問を行いました。

一般質問については何点かの申し合わせ事項があります。一般質問は会派代表質問と個人質問の二種類があります。会派代表質問は、第1回定例会(3月)と第3回定例会(9月)の2回、個人質問は毎定例会で行っています。

質問の通告は定例会招集日の概ね14日前までとされています。質問の順番は通告締切日以降に、議長において「くじ」により決定されます。

また、個人質問の持ち時間は質問のみで一人30分とされ、質問方式には一括と一問一答があり、質問通告時に選択することになっています。

2月20日から開催予定の平成24年第1回定例会から、インターネットによる議会中継が始まります。市民参加を推進するうえでも広報広聴の役割は益々重要になってまいります。議会だよりは紙面を通しての情報発信として、より充実した紙面づくりを目指し努力してまいりますので、市民の皆様のご意見ご感想をお寄せくださるようお願いいたします。

議会日誌

11月

- 4(金) 印旛郡市広域市町村圏事務組合議会定例会
- 8(火) 北海道名寄市経済建設常任委員会 視察来庁
- 9(水) クリーンセンター次期中間処理施設整備等特別委員会
- 10(木) 印旛管内正副議長会視察研修会(～11日)
- 14(月) 全員協議会
議会運営委員会
- 15(火) 全国市議会議長会社会文教委員会
- 21(月) 議会改革推進特別委員会
ニュータウン等対策特別委員会
- 22(火) 建設経済常任委員会
- 24(木) 会派代表者会議
議会運営委員会
正副委員長会議
予算審査特別委員会
- 25(金) 長門川水道企業団議会定例会
- 30(水) 平成23年第4回定例会(～12月21日)
議会だより編集委員会

12月

- 2(金) 議会運営委員会
- 6(火) 全員協議会
- 9(金) 予算審査特別委員会
- 12(月) 総務企画常任委員会
- 13(火) 文教福祉常任委員会
- 14(水) 建設経済常任委員会
- 15(木) 議会改革推進特別委員会
全員協議会
- 19(月) 議会運営委員会
正副委員長会議

1月

- 12(木) 議会改革推進特別委員会
会派代表者会議
- 16(月) 議会だより編集委員会
- 17(火) ニュータウン等対策特別委員会
- 19(木) 議会だより編集委員会視察(～20日)
- 23(月) 建設経済常任委員会
- 25(水) 福岡県春日市総務文教常任委員会 視察来庁
- 30(月) 議会だより編集委員会

お知らせ

請願・陳情の提出はお早めに

請願・陳情書はいつでも提出できますが、平成24年第1回定例会(3月議会)で審議される請願・陳情書の提出期限は、2月10日(金)正午(予定)です。お早目のご提出をお願いいたします。

一般質問の閲覧

平成24年第1回定例会(3月議会)で予定されている一般質問(代表・個人)の内容は、2月14日(火)以降ホームページで閲覧できます。

- 委員長 渡邊 正一
- 副委員長 橋本 和治
- 委員 海老原 作一
- 委員 藤代 武雄
- 委員 松尾 榮子

(F・T)